



日刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.1.22 No. 4330

平・休Bダイヤを早急に提示せよ!

全支部で労働条件

改善をかちとるぞ!

一月一八日、千葉支社において三月ダイヤ改の総武緩行線に関する労働条件の提案があった。

(全体の概要は、日刊九五・一二・二二、四三一六号参照のこと。)

提案の内容は、列車キロ減▲二五二・四キロ(千葉〜御茶ノ水間)千葉支社管内)▲三三三二・二キロ(千葉〜三鷹間)、一日平均乗務キロ(習志野運輸区運転士区計)▲36・1キロ、労働時間A+三分、さらに乗務行路の見直しを行う(実施箇所・習志野運輸区、津田沼車掌区、成田車掌区)という内容である。また、別表のとおり、時短関係の要員も合わせて提示された。(実施時期は、本年四月一日)

平日Bダイヤの提示は、来週から再来週、休日ダイヤ提示は、あいまいな回答に終始!

しかも許せないことに、平日Bダイヤの提示が来週から再来週であるということである。

今回ダイヤ改は、すでに昨年八月に本社において九五・一二に続き九六・三にダイヤ改を行うことが決定されていた。しかし、千葉支社は、前述のような対応に終始した。

組合は、この間ダイヤ改の団交の度に、交番順序の差し替えやスジの差し替え等労働条件に関する問題について千葉支社に提起してきた。しかし、会社は組合側の提起に検討することもほとんど皆無のまま、ダイヤ改を強行し続けてきているのである。今回も、三月一六日ダイヤ改実施(つまり勤務確定は二月二五日)と全く時間的余裕のないなかで、Bダイヤ提示が前述のような状況であるということなのだ。

また、とりわけ問題なのは、休日ダイヤについては、常にダイヤ改移行直前の提示であり、なんの団交も開催されないまま強行されているのである。今回の団交での回答は、「できるだけ早く提示するようにします。」との回答にとどまっている。

一二月ダイヤ改移行後の問題点を重点的に検証し、

当局にぶつけ労働条件改善をかちとろう!

善をかちとろう!

昨年一二月ダイヤ改において、鴨川運輸区設置強行がなされ、他区がそのおろりを受け、労働条件が改悪されている。また、外房線一〇キロ運転は、命を削りながらの業務が強制されている。そうした一二月ダイヤ改以降の問題点を各分科会・各支部各分科会等で検討した要求事項を急に本部に集中し、団交において当局にぶつけて、労働条件改善をかちとろう!

①ダイヤ改関係の要員

津田沼車掌区	車掌	272名	▲3
--------	----	------	----

②時短要員関係

習志野運輸区	運転士	56	+1
	車掌	59	+1
津田沼車掌区	車掌	277	+5
※ダイヤ改要員減との関係から見ると+2			
成田車掌区	車掌	117	+2